

テンキー式ロック使用方法(つづき)

暗証番号の登録方法

暗証番号は4～16桁で自由に設定することができます。

※設定した番号がお客様の暗証番号になりますので、お忘れにならないよう十分ご注意ください。

※暗証番号を変更する際は扉を開けた状態で操作してください。

※暗証番号が正しく登録されていることを確認するまで、扉は閉めないでください。

手順に従って、順番にボタンを押して行ってください。

- 扉の裏にある「M」ボタンを押します (LEDランプが赤色に点灯します)
- LEDランプが赤色に点灯している間に、新しい暗証番号(4～16桁のお好みの番号)を入力します。(しばらく何も操作しないと、LEDランプが消え最初からやり直しになります)
- 最後に「#」ボタンを押します。LEDランプが緑色に点灯し、新しい暗証番号が設定・保存されます。



※登録できる暗証番号は1つです。

※新たに登録作業をすると、登録されていた暗証番号は上書きされ、新しい暗証番号に変更されます。

万一、暗証番号をお忘れになった場合には、型式番号・製造番号にて調査いたします。(有償)

保証規定

本製品は、最初の購入者に対して、購入日より2年間、構造上または機械的な欠陥が認められた場合、本製品の欠陥部分の判別により無料で修理または交換いたします。本保証は、日本国内においてのみ適用されます。

保証サービスを受ける方法

日本国内において保証サービスを希望される場合、マスターロック・セントリー日本株式会社 (TEL:03-5447-5311 カスタマーサービスセンター) にご連絡ください。(注) お買い上げ証明書 (レシート・納品書等) は大切に保管してください。提示が必要となります。「購入証明」がない場合は、故障修理時に有償となります。

火災による損害に対する保証

最初の購入者による使用期間内に本製品が火災により損傷を受けた場合、製品を無償交換いたします。最初の購入者の名前・住所と、損害製品の写真を含む火災の事実をマスターロック・セントリー日本株式会社にご提出ください。損傷した製品と同等製品に交換いたします。マスターロック・セントリー日本株式会社は、いかなる状況においても、耐火金庫内のすべての保管物があらゆる種類の火災またはその他の損傷に耐えうることを保証するものではありません。耐火金庫が火災その他の損傷を受けた場合、またはその他のいかなる状況においても、耐火金庫内の保管物に対しては一切責任を負いません。

保証の限定

- 重大な過失または故意の不法行為による損害を除き、欠陥製品に対する製造者の責任に関して適用される法律および規則で許容された範囲内のいずれの場合においても、本保証書に基づくマスターロック・セントリー日本株式会社の責任および購入者の排他的救済は、マスターロック・セントリー日本株式会社の判別によって、本製品の欠陥部分の修理または交換に限定します。マスターロック・セントリー日本株式会社は火災・水害・窃盗もしくは破壊行為のような外的事象からの損失や損害に対しては一切の責任を負いません。また、本保証書もしくは本製品に適用される他の明示・黙示の保証条項に違反することに起因する人身または財産 (本製品の保管物を含む) の偶発的または間接的損害に対しても、一切の責任を負わないものとします。

- マスターロック・セントリー日本株式会社は、国内準拠法により別段に規定される場合を除き、書面または口頭によるものか、あるいはそれが明示的であるか黙示的であるかにかかわらず、他のいかなる誓約も保証も拒否します。これには一般市場商品性と特定目的に対する適合性についての黙示の保証も含まれます。本製品に適用される黙示の保証は、限定保証期間の2年を超えないものとします。

- 法律で許容される範囲内において、マスターロック・セントリー日本株式会社は、出荷に起因する本製品の損害、欠陥または故障に対して責任を負いません。適切に合理的な取扱いで梱包を行った本製品は、到着時にも良好な状態であるものとします。

- マスターロック・セントリー日本株式会社もしくはその被指名人以外による本製品の变形、改造、修理、サービスに起因する、または本製品に対する物理的乱用もしくは不正使用に起因する、欠陥、損害または故障については、本限定保証の対象としません。

- マスターロック・セントリー日本株式会社の代理店、従業員、代表者、販売店または小売店には、いかなる方法においても、本限定保証の条件を変更するという表明、約束または合意を行ったり、暗示したりする権限はありません。

- 本限定保証は、新品で一級品質品に適用されるものであり、工場の二級品、前に他の所有者がいた中古品、並行輸入品、マスターロック・セントリー日本株式会社を通して日本で販売されていない非正規品、もしくは過去に火災・洪水・地震等により損害を受けた製品には適用されません。

- マスターロック・セントリー日本株式会社は、さらに民法570条に基づく、黙示の瑕疵担保責任を否定します。

本限定保証のすべての条項は、独立しており、分離可能です。いずれかの条項が無効かつ法的強制力を持たないとされた場合でも、その決定は、その他の条項の有効性または法的強制力に影響を及ぼすものではありません。

輸入・発売元 (本製品に関する、お問い合わせ先は以下の通りです。)

マスターロック・セントリー日本株式会社

カスタマーサービスセンター

TEL 03-5447-5311

〒141-0022 東京都品川区東五反田 2-20-4 NMF 高輪ビル 4F

TEL:03-5447-5311 FAX:03-5447-5318

http://www.masterlockjapan.com http://www.sentryjp.com

※本書の無断での転載はお断りします。 ※本書の内容は機能向上などの理由により予告なく変更することがあります。

取扱説明書・保証書 JBSシリーズ

本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書を必ずよくお読みください。お読みになった後は、大切に保管してください。

ご使用前に必ずお読みください

はじめに

- 本製品は耐火性能を重視した耐火金庫であり、防盜用金庫とは性能が異なります。防盜用金庫のような耐破壊強度はありません。適切な道具を使って時間と労力を費やせば、どんな金庫も開けることが可能です。日頃からの少しの注意で、盗難をかなり予防することができます。
- 可能な限り耐火金庫を隠してください。直射日光や熱が当たる場所は避けてください。変色・変形の原因となります。
- 商品の製造工程上、設置面等の塗装が剥がれやすくなっている場合がありますが、商品の性能には問題ありません。
- 火災時に消防関係者に話す以外、金庫の設置(隠し)場所は他人に漏らさないでください。
- 暗証番号のわかる本取扱説明書や書き写した書類の取扱には十分にご注意ください。

安全にご使用いただくためのご注意

- 耐火金庫の開閉は静かに行い、指はさみに十分ご注意ください。また、勢いよく開閉すると他のものを傷つけたり耐火金庫の故障の原因となります。
- 耐火金庫は正しい向き(底面が下)の状態でご使用ください。特に扉を上向きにした状態で使用すると、閉める時、手をはさんだり収納物を壊す危険があります。また、扉を開けた時、扉が本体蝶番から外れることがあり危険です。
- 耐火金庫の内容積に合わない大きさの物を入れると扉が閉まらなかったり収納物を壊すことがあります。
- 耐火金庫の設置場所が耐火金庫及び収納時の重量に耐えられることを事前にご確認ください。
- 耐火金庫全体及び扉を改造したり分解したりしないでください。耐火金庫の故障、性能の低下につながります。
- お子様にはさわらせないでください。思わぬ事故につながる恐れがあり、危険です。
- 耐火金庫の設置は水平な場所に置いてください。扉の開閉に支障をきたす恐れがあります。
- カンヌキが出ている状態で、扉を強く閉めないでください。本体にカンヌキがあたり、施錠機構の故障の原因になります。
- 時々、耐火金庫の開閉を行い内部の通気を行ってください。(湿気防止として)

保管物について

- いかなる状況においても、金庫・保管庫内のすべての保管物があらゆる種類の火災または、その他の損傷に耐えうることを証明するものではありません。また金庫・保管庫内の保管物に対しては一切の責任を負いません。
- 武器の保管はできません。この製品は火器、弾薬、爆薬、起爆装置あるいは武器の保管用に製造された製品ではありません。これら武器類を製品内に保管したために生じる損害・損傷に対して、一切の責任・責務を負いません。
- フロッピーディスク・カートリッジ・テープ、オーディオ・ビデオカセット、写真ネガ等は火災時にデータを保護できません。
- 切手類やその他湿度に弱い微妙な製品を保管する場合には、密封容器に入れて耐火金庫に保管してください。
- 真珠、及び一部の宝石は高熱のために変色したり、汚損する恐れがあります。宝石店に問合せ、お客様の宝石類の耐熱性をご確認ください。

故障に関する修理・保証について

- 購入日から2年以内に、取扱説明書の注意書きに従った正常な使用状態で構造的及び機械的欠陥にて故障したと認められる場合、無償にて修理、もしくは、修理が困難な場合は同型の製品と交換させていただきます。その際に、「保証書」または「購入日を証明できるもの(領収書、納品書、送状、請求書など)」をご提示いただく必要がございます。
- 火災による製品の損傷(ライフ・タイム・ワランティー)
最初の購入者による使用期間内に本製品が火災により損傷を受けた場合、損傷した製品と同等の製品と交換いたします。その際に、最初の購入者の名前・住所と、損傷した製品の写真を含む火災の事実をご提示いただく必要がございます。
- 保証期間内であっても次の場合には有償修理になります。
イ.使用上の誤り及び当社または当社指定以外の業者による修理や改造などによる故障及び損傷。
ロ.お買い上げ後の移動・落下による故障及び損傷。
ハ.カンヌキ等の特定部品の故障の場合。
ニ.保証欄への押印または購入証明の提示がない場合。

詳しくは、**カスタマーサービスセンター (03-5447-5311) にご相談ください。**

SentrySafe 保証書

保証期間: 構造的及び機械的欠陥.....2年間 火災による製品の損傷(ライフタイムワランティー)・・・最初の購入者に限る	お買い上げ日	年	月	日
ご住所	販売店:			
お名前	住所 店名 電話			
お電話	()			
お買い上げ店の証明印がなくても、お買い上げ年月日を証明できるものご提示があれば、本書は有効です。領収書、納品書、送状、請求書なども購入を証明できるものとなります。本説明書同様、大切に保管してください。				

MLSJ201705_JBS

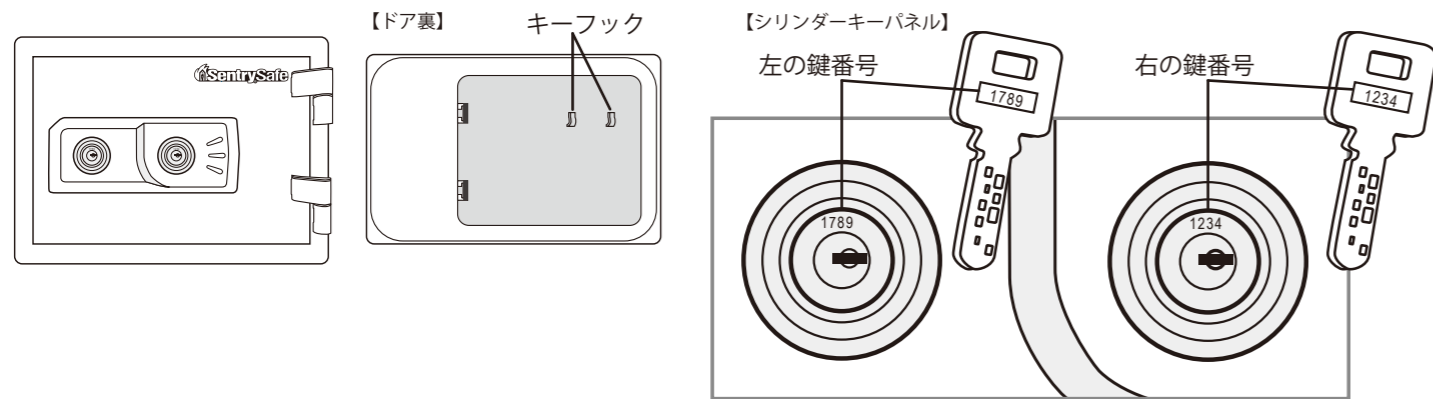
お客様のご使用製品情報

The serial number

※本書は、使用開始後は金庫の中に入れて、別の場所に大切に保管し、他者の目に触れないように十分ご注意ください。

※ご質問へのお答え、保証サービスの際に、上記の番号が必要となります。

2キー式ロック使用方法



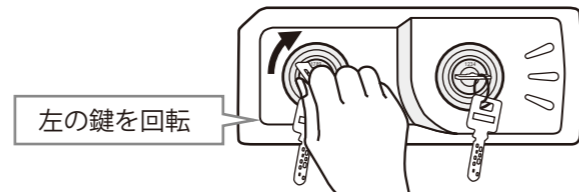
開け方 (解錠方法)

こちらの金庫を解錠するには、2本の鍵が必要です。
左右の鍵は別々になっており、片方だけでは解錠できませんので、ご注意ください。
※左右の確認につきましては、鍵穴と鍵にそれぞれ刻印されている番号をご確認ください。

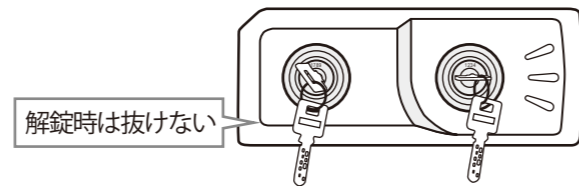
1. 右側の鍵穴に、右用の鍵を差し込み、時計回りに止まるまで回します。



2. 左側の鍵穴に、左用の鍵を差し込み、時計回りに止まるまで回します。



3. その状態で手前に引くと扉が開きます。
※左用の鍵は、開いている状態のときは抜けません。



閉め方 (施錠方法)

1. 扉のカンヌキが出ていないことを確認してください。

2. 扉を静かに閉め、左側の鍵を反時計回りに止まるまで回して、抜き取ってください。

3. 右側の鍵を反時計回りに止まるまで回して、抜き取ってください。

こんなときは

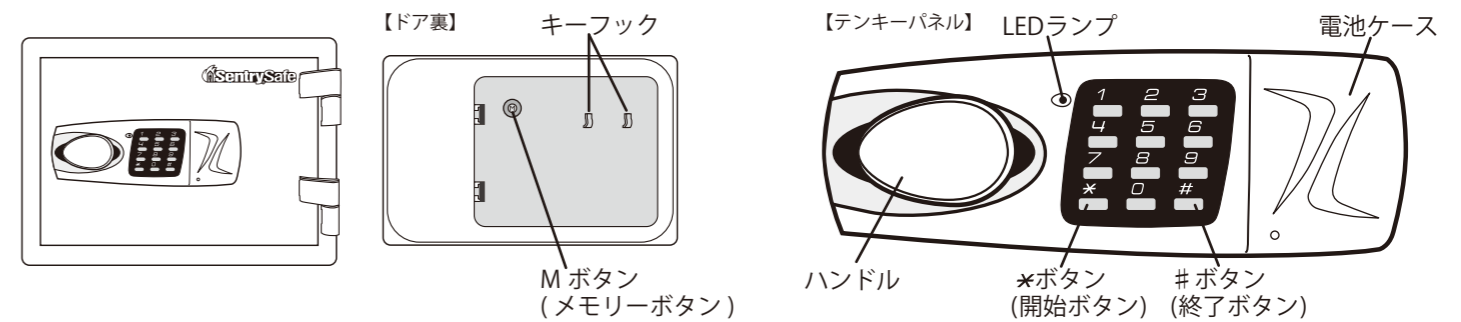
Q. 暗証番号がわからなくなりました...

A. 型式番号・製造番号にて調査いたします。(全て有償対応となります。)カスタマーサービスセンター(03-5447-5311)までご連絡ください。
※調査に日数を要する場合があります。 ※セキュリティの関係上、お客様の「身分を証明」するものをご提示いただく場合があります。

Q. 鍵が欲しい...

A. カスタマーサービスセンター(03-5447-5311)までご連絡ください。

テンキー式ロック使用方法

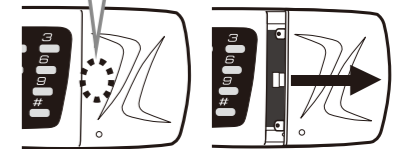


ご使用前の準備・電池交換の方法 ※電池は別売りです

1. 電池ケースのフタを右にスライドさせて取り外します。

ここを押しながら右へスライド

2. 単3乾電池(別売り)を4本取り付けます。
※プラス・マイナス方向を間違えないようにしてください。



3. 電池ケースのフタを元に戻します。
※電池を交換しても、暗証番号はリセットされません。

開け方 (解錠方法)

初期設定暗証番号は「4、5、6、0」です。

※セキュリティのため、初期設定暗証番号(4、5、6、0)は変更することをお勧めいたします。
※変更・設定の方法は次頁の暗証番号の設定方法を参照してください。

1. 「*」キーを押します。(LEDランプが赤色に点灯します)

赤色に点灯している間に暗証番号を押す

2. LEDランプが赤色に点灯している間に、暗証番号を押します。
※初期設定暗証番号は「4、5、6、0」です。



3. 「#」キーを押します。(LEDランプが緑色に点灯します)
※LEDランプが赤色に3回点滅したときは、入力された暗証番号が間違っています。
※暗証番号を入力している途中(「#」キーを押す前)に間違いに気付いたときは、1の操作からやり直してください。

緑色に点灯



4. ハンドルを上へ回し、扉を開けます。
※間違った暗証番号を3回入力すると電子音と共にLEDランプが赤色にゆっくり点滅し、約3分間自動ロック状態となります。
(LEDランプが赤色に点滅している間は操作不可)

上へ回して開ける



扉の閉め方 (施錠のしかた)

1. 扉のカンヌキが出ていないことを確認してください。

2. 扉を静かに閉め、ハンドルを元の位置に戻してください。